

## 平成20年度第7回岐阜県事業評価監視委員会議事概要書

日 時：平成20年9月5日（金）  
13：15～16：00

場 所：岐阜県庁舎（7階）7南 - 1会議室

### 議事

- 1 議事概要書署名委員の指名  
委員長から署名委員として、川島委員、澤田委員、寺本委員を指名。
- 2 再評価実施個所の詳細説明及び審議について  
街路事業〔事業主体：高山市〕
  - ・ 審議事業：土地区画整理事業・地方道路整備臨時交付金事業【高山<sup>たかやま</sup>駅周辺】
  - ・ 説明者：高山市基盤整備部駅周辺整備課 反中課長

#### 【審議内容】

Q．費用便益分析で、事業を行うと交通事故減少便益はマイナスとなり、事故が増える結果となりますが、マイナス要因をゼロに近づけるような工夫は、なされていますか。

A．5.5m以上の区画道路を整備した場合、交差点が多くなりますので、費用便益はどうしてもマイナスとなりますが、施工にあたっては歩道も整備しておりますので、歩行者等の安全は、かなり確保されると考えています。

Q．土地区画整理事業の便益は、地代便益の効果を算出しています。地代の価値は毎年変動しますが、便益費の算出にはどのように反映していますか。

A．平成20年を基準年として、土地区画整理事業を行うことにより、影響する価値の差で算出していますので、地価の上下は影響しないこととして評価しております。

#### 下水道事業〔事業主体：岐阜市〕

- ・ 審議事業：公共下水道事業（高度処理）  
【中部<sup>ちゅうぶ</sup>処理区・北部<sup>ほくぶ</sup>処理区・南部<sup>なんぶ</sup>処理区】
- ・ 説明者：岐阜市上下水道事業部上下水道事業政策課 中川管理監

#### 【審議内容】

Q．3箇所の処理区の内、中部処理区については、事業費ベースの進捗率が10%ですが、順調な進捗と言えますか。

A．中部処理区につきましては、昭和9年に事業着手し、戦後まもなく処理区は概成しております。このため、現在の貨幣価値と比べますと、初期投資の費用が非常に少なくなっております。

また、中部処理区の施設としては完成していますが、今後の処理場の全面改築費用及び管渠の改築費用が今まで投資してきた費用に比べて非常に大きいことが、事業費ベースでの進捗率が低い理由ですので、事業としては順調と判断しています。

Q．今後、行われる全面改築費用及び、管渠の改築費用の投資が非常に大きくなることですが、社会情勢の変化をより強く受けることとなります。現在、算出されている費用対効果の数値は、人口の増減等を考慮した結果

2.1 となっていますが、当初見込まれていました費用対効果の数値は、どれくらいですか。

A. 事業開始年度は、昭和9年ですので、その当時の費用対効果については、算出しておりません。  
基本的に、施設は概成し運用している中、今後、高度処理という新たな投資を行って参りますので、その投資について費用対効果が得られているか、算出しております。

Q. 進捗率の10%は、工事の進捗率ではなく、予算だけの進捗率とのことでしょうか。

A. そうです。事業費ベースでの進捗率です。  
工事としては、施設整備から申すと、処理場及び管渠は完了していますので、今後の事業は、伊勢湾の水質浄化を目的とした高度処理の投資となります。

Q. 中部処理区は、岐阜市の中でも最も古い施設だったと思いますが、昭和9年に造られた施設は壊してしまっていますよね。

A. 現在も、昭和9年に造られた施設は現存し使用していますが、昨年度から、全面改築ということで、新しく施設を造り替える事業に着手しております。

Q. 施設の減価償却は終わっていますので、汚水が流出することでは困りますので、悪い部分は直すべきだと思います。  
放流先は、新荒田川だと思いますが、最終的には伊勢湾に流入しますので、伊勢湾の水質浄化のためにも早く事業を進めてください。

下水道事業 [ 事業主体：岐阜市 ]

・ 審議事業：公共下水道事業（雨水）

【中部排水区・北部排水区・南部排水区・木曽川右岸排水区】

・ 説明者：岐阜市基盤整備部河川課 中村主幹

【審議内容】

Q. 中部排水区の今泉排水ポンプ場が未着工とのことですが、どのように治水安全を図られる予定ですか。

A. 中部排水区は、来年度から浸水対策の施設として、梶川町貯留槽の計画に着手する予定としています。その後は、順次、排水路の整備、ポンプ場の整備を行い、市内の浸水防除を図って参ります。

Q. 排水ポンプ場のことではありませんが、市内を流れる小さな河川に、ゴミ止めのためのスクリーンが設置されています。このため、スクリーンにゴミが溜まっていたため、出水時に近隣の住居に浸水の被害がありました。  
河川へのゴミ止めについては、悪いことではありませんが、降雨時の対策及び普段の管理について対応をお願いしたい。

A. ゴミ止めのスクリーンの維持管理（ゴミの撤去等）につきましては、岐阜市と近隣の土木業者と年間を通じた委託契約を結んでいます。このため、降雨がある場合等に点検を行い、必要があればゴミの撤去を行う等、対応しています。  
なお、降雨が近い場合には、点検を随時行うようにして対処したいと考えております。

Q . 河川のゴミ止めスクリーンの維持管理については、土木業者等への委託のみだけではなく、市の職員自らも維持管理を行ってほしいと思います。

A . わかりました。

Q . この事業の費用対効果の便益は、浸水による被害を想定されています。非常に事業期間も長いですが、社会経済状況の変化、自然環境条件の変化については、「特に大きい変化はなし。」との説明でした。平成60年くらいになると地球温暖化もかなり進行していると思われますので、単純に人口と被害額で便益を算出すべきではなく、社会経済状況の変化及び、自然環境の変化にもきめ細かく対応することが必要かと思ひます。

下水道事業 [ 事業主体 : 大垣市 ]

- ・ 審議事業 : 公共下水道事業【大垣<sup>おおがき</sup>処理区】
- ・ 説明者 : 大垣市下水道課 土屋課長

【審議内容】

Q . 人口減少に伴い、施設の処理方法を簡易な方式にする等、処理方式の変更について検討はされないでしょうか。

A . 処理方式については、現在計画している方式（凝集剤併用ステップ流入式多段硝化脱窒法 + 砂ろ過）のままの計画です。人口フレームにつきましては、人口が相当数減少することを前提に見直しを行っています。

Q . 人口が、ある程度減少すると、それに比例して処理量が減少しますので、設備もそれに応じて小さくなると思いますが、現在の計画では、未だ反映されていません。今後、事業を進めながら反映させて、コスト縮減を図っていくとのことによろしいでしょうか。

A . はい。結果としまして、人口減少に伴って処理量は減りますが、窒素・リンを除去し、伊勢湾の水質浄化を目的にしておりますので、現在は計画どおりのまま行うこととしております。

下水道事業 [ 事業主体 : 大垣市 ]

- ・ 審議事業 : 公共下水道事業【大垣<sup>おおがき</sup>排水区】
- ・ 説明者 : 大垣市下水道課 土屋課長

【審議内容】

Q . 全体計画の変更について、降雨強度式等の見直しに伴い、本年度に変更されているとのことですが、どのような変更をされたのでしょうか。

A . 以前までの計画では、降雨強度を時間当たり52.2mmで計画していましたが、今回の新しい計画では、時間当たり56.9mmで計画しております。

Q . 平成20年9月2日に西濃地区で大雨がありましたが、この事業の区域の内、工事が完了している箇所において被害はありましたか。

A . 一部ありましたが、被害のあった箇所は、地形的に窪地となっている宅地などです。

Q . 排水場のポンプは稼働していましたか。

A . はい、フル稼働していました。

Q . 工事が完了している箇所には、殆ど浸水した家屋は無かったとのことですか。

A . はい、被害報告は殆どありませんでした。

Q . 効果は、あったようですね。

A . はい。

Q . 排水ポンプの規格及び、圧送する管渠の径を決定する根拠はどのようになっていますか。

A . 排水先は一級河川です。河川等には、それぞれ管理者があります。その河川管理者と河川的能力等を考慮して、排水量を決めております。このような協議をするのは、河川能力以上に排水し、より甚大な被害を防止する為に行っております。また、排水機の操作は、それぞれの機場で操作規則等に従い、運転しております。

Q . 排水量は、市町によって違いますか。

A . 排水量につきましては、市町毎ではなく、排水処理区毎に行う河川協議で決定されます。

下水道事業 [ 事業主体 : 大垣市 ]

- ・ 審議事業 : 公共下水道事業【墨俣処理区】<sup>すのまた</sup>
- ・ 説明者 : 大垣市下水道課 土屋課長

【審議内容】

Q . 全体計画の処理人口は、3,700人と想定されていますが、墨俣町の人口は3,700人より多いのではないですか。下水道の整備を行うのは、墨俣町でも一部の地域とのことですか。

A . 現在の墨俣町の人口は約4,700人ですが、将来の人口推移を予測しますと3,700人まで減少する見込みですので、3,700人と計画しています。このため、墨俣町における下水道の区域は全てを対象としています。

Q . 事業は、平成11年度に事業が開始されていますが、現在、整備率は0%です。下水処理は、流域全体である東海地区の水環境が改善されますので、地域で責任を持って処理されることが重要だと思います。

また、墨俣町の住民にとっても、生活環境が直接改善されますので、重要な事業だと思われれます。しかし、事業は進んでいませんので、進んでいない理由及び、今後の見通しについて説明してください。

A . 平成18年3月に、旧大垣市と旧墨俣町が市町村合併をしましたが、当下水道事業は、平成11年の12月に、下水道事業認可を取得し、当時の墨俣町が事業を進めてきました。当時、墨俣町は、隣接町である安八町に事業の説明を行っていましたが、説明が若干不足していたようで、下水処理場の建設に対して反対の運動が起こりましたが、旧墨俣町時代に問題が解決されないまま、大垣市と墨俣町は合併を致しました。

合併後も約2年間にわたり安八町さんや安八町の住民の方と協議の場を持ちながら進めて来ましたので、時間を費やすこととなっています。

今後は、墨俣町地区の住民は、1日でも早く整備されることを望んでおりますので、近隣の住民の方々と今後も協議を行い事業を進めて参りたいと考

えています。

Q．墨俣町地区の方は、事業の早期完成を強く望まれているのに対して、事業は進んでいない。

この理由として、近隣の方々に事業の理解が得られていないようですが、事業が完成すると、近隣の方に損害又は影響はありますか。

A．墨俣町の現状は、4,700人の各世帯の約8割以上が単独浄化槽ですので、汚水処理が不十分のまま河川等へ放流されています。このため、処理場を造ることで、一括して汚水の高度処理を行い、浄化された水を放流しますので、現況よりも環境改善が図られます。

Q．水質は向上するとのことですね。

東海地区や伊勢湾の水質を向上していくことは、われわれの大きな責務との観点から、生活排水は高度なレベルで処理し河川へ戻すことが大切なことと思いますので、地域全体に理解が得られるよう努力され、事業を進めて行くうえで懸案となっていることを早く解決し、早期完成に向けて進めて頂きたいと思います。

Q．大垣市における、上水道の利用人口と下水道の利用人口の差はどれくらいですか。

A．上水道の普及率は約97%、下水道の普及率は約80%です。

Q．井戸等で、地下水を利用されていることは少ないですか。

A．この場では、井戸の利用率は、はっきり判りませんが、特に郊外の地区においては、自家用の井戸を使用されている家庭もあります。

Q．西南濃地区は、地盤沈下が起こっています。これは、地下水を大量にくみ上げていることが原因だと思います。

下水道も大事ですが、地下水も保全し地盤沈下を防止することが、埋設された下水道管を破損させる被害を発生させないことに繋がると思います。

#### 下水道事業〔事業主体：高山市〕

- ・ 審議事業：公共下水道事業【宮川<sup>みやがわ</sup>処理区】
- ・ 説明者：高山市下水道課 小林主査

#### 【審議内容】

Q．他の市町では、高度処理を中心にされていますが、宮川処理区の場合、処理方式を担体投入活性汚泥法とされています。

流域面積は、かなり飽和に近い状態かと思いますが、今後も処理方式を、変更しなくても水質は保たれるとのことでしょうか。

A．高山市の宮川終末処理場の排水は、神通川流域で富山湾に流れています。

現在、神通川の流総計画を策定中ですが、伊勢湾と違い水質はかなり良いため、チッ素、リンに関する規制は今のところありません。

また、現在の水処理実績において、下水道法で規定されているチッ素、リン及びBODも含めて規制値を十分にクリアしているため、現在の処理方式で今後も対応できると考えています。

Q．平成17年度に人口フレーム等を変更とありますが、具体的にはどのような変更がされてたのでしょうか。

A．下水道事業は、最初に基本計画を策定します。

前回、平成5年度に策定された基本計画では、人口は増加傾向にあるとの予測で、具体的には72,200人と計画処理人口を設定しておりましたが、近年、人口は減少傾向にあるため見直しを行い、計画処理人口を67,600人に変更しております。

また、1人が1日当たり生活するのに使用する水の量は、平成5年の計画では、270リットルと想定しておりましたが、最近では、節水傾向にありますので、使用水量の実績から230リットルに変更しております。

主に、人口と汚水量を見直すことで処理場の規模を縮小しております。

下水道事業〔事業主体：恵那市〕

- ・ 審議事業：公共下水道事業【奥戸<sup>おくど</sup>処理区】
- ・ 説明者：恵那市下水道課 遠藤課長

【審議内容】

Q．費用対効果の分析で、周辺環境や居住環境を改善することのことですが、具体的には、単独浄化槽の場合や排水路に蓋を設置すること、及び排水路を清掃する費用で評価されていると思いますが、コスト削減について工夫された点はありますか。

A．費用対効果についての算出のみで、コスト削減まで踏み込んで検討は行っておりません。

下水道事業〔事業主体：土岐市〕

- ・ 審議事業：公共下水道事業【土岐<sup>とぎ</sup>処理区】
- ・ 説明者：土岐市下水道課 田中課長

【審議内容】

Q．全体計画について、基本計画区域の縮小及び、原単位の見直しを行ったことのことですが、公共下水道が利用できない区域が出てくるのではないのでしょうか。

A．全体計画区域は2,500haとしておりますが、平成15年度に変更を行った内容は、人口減少に伴う計画処理人口の変更を行っています。

Q．計画区域の変更では無く、計画処理人口を変更されたことのことですか。

A．はい、そうです。

下水道事業〔事業主体：下呂市〕

- ・ 審議事業：特定環境保全公共下水道事業【萩原<sup>はぎわら</sup>処理区】
- ・ 説明者：下呂市上下水道部水道事業課 曾我課長

【審議内容】

Q．事業は長期に渡っていますので、社会的な変化や将来的な予測をどのように計画に反映させているか説明してください。

また、現在は、「社会経済状況の変化は特になし」とされていますが、何年先までの想定で規模等を考えているか、人口の変化についても説明してください。

A . 現在、下呂市の人口は約 3 万 8 千人ですが、平成 3 2 年には約 3 万 6 千人と約 2 千人ほど人口が減る予測で、処理人口の計画を立てています。

この事業の計画地である萩原地区に限定して人口を比べると、変化なく推移していますので、萩原地区についての計画処理人口は、現状維持のまま試算しております。

下水道処理が、萩原地区に取り入れができる地域につきましては、区域を変更して経済的に事業が行えるよう取り組んでいます。

Q . 先ほど説明があった土岐市の事業と比べると、管渠延長は双方、同程度の事業規模ですが、全体事業費は、けた違いの数字となっています。どのようなことが理由でしょうか。

A . 他の市町については判りませんが、平成 2 0 年度の下水道事業の平均単価は、1 ha 当たり 3 千万と試算しています。萩原地区の既に完成している区域面積は、約 1 5 0 ha で、執行済みの事業費は約 5 0 億円となっていますので、単価設定どおりと考えます。

但し萩原地区は、人口密集地が少ないため、ある程度の予算は掛かると思っています。

Q . 土岐市との違いは、処理場に掛かるコストの差ということですね。

### 3 審議結果のとりまとめ

公共下水道事業【<sup>すのまた</sup>墨俣処理区】[事業主体：大垣市]の意見  
・伊勢湾から上流域まで、全体の水循環を視野に入れ、流域全体の水質改善を図る視点により、住民の理解を得て事業の早期完成に努めること。

#### 【街路事業】

土地区画整理事業・地方道路整備臨時交付金事業【<sup>たかやま</sup>高山駅周辺】 継 続

#### 【下水道事業】

|               |                             |     |
|---------------|-----------------------------|-----|
| 公共下水道事業（高度処理） | 【 <sup>ちゅうぶ</sup> 中部処理区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業（高度処理） | 【 <sup>ほくぶ</sup> 北部処理区】     | 継 続 |
| 公共下水道事業（高度処理） | 【 <sup>なんぶ</sup> 南部排水区】     | 継 続 |
| 公共下水道事業（雨水）   | 【 <sup>ちゅうぶ</sup> 中部排水区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業（雨水）   | 【 <sup>ほくぶ</sup> 北部排水区】     | 継 続 |
| 公共下水道事業（雨水）   | 【 <sup>なんぶ</sup> 南部排水区】     | 継 続 |
| 公共下水道事業（雨水）   | 【 <sup>きそがわ</sup> 木曽川右岸排水区】 | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>おおがき</sup> 大垣処理区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>おおがき</sup> 大垣排水区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>すのまた</sup> 墨俣処理区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>みやがわ</sup> 宮川処理区】    | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>おくど</sup> 奥戸処理区】     | 継 続 |
| 公共下水道事業       | 【 <sup>と き</sup> 土岐処理区】     | 継 続 |
| 特定環境保全公共下水道事業 | 【 <sup>はぎわら</sup> 萩原処理区】    | 継 続 |

